

平成22年度学校評価実施報告書

島根県立安来高等学校

	重点目標	項目	平均	反省と対策	学校関係者評価	次年度に向けての改善・方策
学校全体	1 人権尊重の立場に立って、自らを大切にし他を思いやることのできる、豊かな心を持った生徒を育成する。 2 生徒の実態を踏まえ、自ら学ぶ学習態度を育成し学習指導の充実強化に努める。 3 基本的生活習慣の確立を図り、自主・自律の態度を備えた生徒を育成する。 4 部活動及び生徒の諸活動の振興に努め、情操豊かでたくましい生徒を育成する。 5 進路指導を適切に行い、個々の進路目標を達成させる。 6 環境美化と豊かな情操の涵養に努める。 7 家庭や地域との連携の推進に努める。 8 安心して学べる学校の危機管理徹底に努める。	1 学校目標・重点目標を実現するための学校運営が行われているか。 2 職員会議・各種委員会・校務部会等は適切に機能しているか。(連携も含め) 3 教職員は協力しながら負担の均衡に努めているか。 4 家庭・地域社会との連携は現状でよいか。 5 火災・地震・不審者対策は現状でよいか。	2.85 2.58 2.63 2.74 2.80	・学校の課題解決のため、昨年11月に学校経営ビジョンプロジェクトを立ち上げ、「ブランド力の高い学校」を目指して、具体的な方策を練っている。一方で、現在各分掌や学年会等で実践されている項目についても、検証・評価・改善を進める。 ・地域・保護者・中学校との連携、学校からの情報発信は十分とは言えない。生徒募集の観点からも具体的な方法を検討していく必要がある。	・学校の評価は志願者の数に反映される。魅力ある学校づくりと積極的な情報発信を期待する。 ・生徒を募集する側の努力が不足している。中学生を安高に仕向ける仕掛けが必要。 ・安高で強力にアピールできるものは何か。私学のような個性づくりをさらに進める必要がある。	・学校経営ビジョンプロジェクトで考えた具体的な方策、たとえば基礎学力充実のための居残り学習、週明け総合テスト等を実行に移してゆく。 ・「開かれた学校づくり」のため、地域との連携事業も積極的に進めている。
		・課題解決に向かって、プロジェクトを始めとして、話し合いも多くなり、新しい提案も出されている。今後少しずつ形になっていくのではない。 ・共通理解を深めるために、校務部会を週一回定期的に出れば。 ・新しい試み以上に現状の立て直しが急務である。 ・地域・保護者・中学校ともつと対話する機会を増やすべきである。 ・不審者に対する対策がなされていない。(具体的な対応法等の確認)				
総務部	1 学校行事を円滑に運営する。 2 ホームページなどのメディアを活用して、生徒募集を拡充する。 3 PTA、中の海会、その他の諸団体と連携し、地域や保護者の協力を求め、学校教育に対する信頼を高める。 4 創立110周年記念事業を成功させる。	6 式・式典(入学式・卒業式・始業式・終業式等)は現状でよいか。 7 PTA活動(総会・出身中別PTA・ロードレースボランティア・清掃ボランティア)は現状でよいか。 8 生徒募集に関わる活動(学校案内・中高連絡会・中学校訪問・学校説明会)は現状でよいか。 9 広報活動(PTA会報・学校だより)は現状でよいか。 10 生徒の活動(遠足・生徒研修(芸術鑑賞)・防災訓練)は現状でよいか。 11 教育の日は現状でよいか。	3.41 2.98 2.86 3.11 2.95 2.97	・PTA総会や出身中別PTAの出席率が低いことについて、PTA役員の方々の協力も求めながら、保護者に対する働きかけをしていきたい。 ・本年度の中高連絡会では、授業参観を実施し、開催時期を早めるなどの便宜を図った。 ・HPの更新が十分でなかったため、来年度は内容の充実が図れるように努力したい。	・出身中別PTAは余り意味がないのではないかと見直しの時期である。 ・保護者が授業参観をする機会がない。この機会を設けることは学校のアピールにもつながる。 ・授業を見せてもらったが、雰囲気がいよ。中学生を対象にした授業や中・高生の交流等、中学校との連携を進めてほしい。体験を通じての高校理解が一番有効ではないか。	・出席率の低い地区については、統合や廃止も視野に入れて再検討する。 ・来年度は、オープンキャンパスを2回実施する予定であるが、それぞれ魅力あるものになるように計画していきたい。 ・不審者対策のためのマニュアルを作成し、教員研修を実施したい。また、地震発生時の指導方法や防災訓練の方法についても再検討する。
		記述意見(食堂・購買・中の海会・AT業務・その他) ・PTA総会の出席者を増やす手立てはないものか。 ・出身中別PTAは思い切って廃止すべき。参加者も少ないし、教員の負担にもなる。 ・出身中別PTAは、時期を変えるか、地区を統合するか等の方法が必要。 ・110周年記念式典はとてもよかった。生徒がよく頑張った。 ・HPはもっと更新して内容の充実を。HPに生徒募集の文章を掲載したら、生徒募集をもっと積極的に行うべき。本校にとって必要な生徒(学力面・部活)が入学してくるのを待つのではなく、積極的に勧誘活動をすべき。 ・来年度、学園祭の日程に変更があれば、併せて遠足、芸術鑑賞、教育の日の講演会の持ち方も検討すべき。				
教務部	1 家庭学習を習慣化し、定着させる。 2 成績上位者への指導の徹底をはかる。 3 教師の指導力向上をはかる。	12 時間割編成・時間割変更は現状でよいか。 13 基礎学力の定着を図る方策は現状でよいか。 14 習熟度に応じた教科指導は現状でよいか。 15 学習評価(評価基準等)のあり方は現状でよいか。 16 生徒による授業評価のあり方は現状でよいか。 17 総合的な学習の時間の内容は現状でよいか。	2.95 2.33 2.82 2.92 2.61 2.21	・学期に1回の授業公開週間については、ノルマを設定して徹底していく。研究授業についても研修対象者やセミナー参加者を中心に計画的に実施していきたい。 ・学習時間調査は学期ごとに定期的に行い、過年度比較もする。生徒に結果を示すことで学習に対する意識を高める。 ・生徒による授業評価については、引き続きそのあり方を検討してゆきたい。	・もっと生徒に体験学習や地域学習をさせることが必要ではないか。 ・きめ細かな教科指導をお願いしたい。それは学校の特色にもなる。 ・習熟度別クラス編成、学習の検証を。どのような効果があったのか。	・総合的な学習の改善については、総合的な学習検討委員会を立ち上げ、3年間を見据えた指導計画と体制を考える。
		記述意見(学習記録帳・定期試験・授業公開週間・教師の指導力向上・その他) ・総合的な学習の内容について、教務を中心に計画・調整してもらいたい。学年ごとに内容を決めるのではなく、3学年で完成させるよう計画すべき。 ・授業公開週間はなるべく行事がない週で、ノルマがあってもよい。 ・学習時間調査は、毎学期定期的に。結果を生徒に示す。 ・学習記録帳はとても役に立っている。生徒との繋がりにもなっているし、書くということも習慣づけることにも貢献している。				

生徒指導部	<p>1 基本的な生活習慣の確立を図る。</p> <p>2 規範意識や公共心を高め、自主自律の態度を育成する。</p> <p>3 部活動・生徒会等、生徒の諸活動の活性化を図る。</p>	18 全教職員の共通理解と協力で生徒指導がなされているか。	2.78	<p>・遅刻指導については、毎日の登校指導の中で、さらに徹底を図る。</p> <p>・服装指導については、後期から生徒会による指導も始まり、生徒の意識はより高くなりつつある。今後は生徒会、担任と連携して定期的な指導を行いさらなる改善を図る。</p> <p>・交通マナーについては、生徒の意識、保護者の評価共に低く、今後の大きな課題である。例年行っている交通安全委員による現地指導を増やすことや、その他の有効な方法を考えていきたい。</p>	<p>・遅刻指導を徹底してほしい。社会に出たら通用しない。</p> <p>・服装指導については、基準を明確にして周知させてほしい。</p> <p>・文化祭の内容を考えて、保護者や地域の人が見に来やすい形にすることは出来ないか。</p>	<p>・部活動の再編については、統廃合の基準を明確にして、部顧問に諮りながら時間をかけて進めてゆく。</p> <p>・学園祭が分離日程になったので、併せてその内容についても検討したい。</p>
		19 問題行動への対応は現状でよいか。	3.02			
進路指導部	<p>1 3年間を見通した進路指導計画に基づき、生徒一人一人の適性に合った進路設計を支援する。</p> <p>2 進路目標実現のための学力の育成と伸長を図るとともに、幅広い知識と思考力が身につくよう指導する。</p> <p>3 進路目標の実現に向けた生徒一人一人に対する指導の充実を図り、すべての生徒の進路を保障する。</p>	20 遅刻防止の対策は現状でよいか。	3.11	<p>・土曜日補習については、一定の効果があつたと考えられ、改善を図りながら今後も継続したい。</p> <p>・出前講義について、島大に加えて、次年度は松江・出雲キャンパスも引き、選択できる分野を増やす。</p> <p>・冬休み補習は、日数は短いですが学力向上のためには必要なことと考える。補充については、冬休みの数日に限定するよりは、普段の放課後に実施する方がより効果的と思われる。</p>	<p>・大学との連携をさらに進めてほしい。</p> <p>・文武両道が挙げられているが、進学での頑張りの中々見えてこない。</p>	<p>・各学年部・各担任と連携をとりながら、進路指導に関わる全体指導、個別指導をより一層充実させたい。</p> <p>・進路情報については、保護者対象の説明会のほか、時宜を得た情報発信に努めたい。</p>
		21 交通安全への取り組みは現状でよいか。	2.93			
		22 生徒会の活動は現状でよいか。	3.15			
		23 服装指導は現状でよいか。	2.75			
		24 球技大会は現状でよいか。	3.13			
		25 学園祭(内容・日程等)は現状でよいか。	2.89			
		26 部活動への取り組みは現状でよいか。	2.78			
		記述意見(挨拶・部活動再編・各種委員会・携帯電話指導・朝の立ち番指導その他)				
		<p>・部活動再編については思い切っすべき。</p> <p>・服装指導の追指導はもう少し徹底した方がよい。</p> <p>・学園祭の内容を再考すべき。</p> <p>・携帯電話の指導については、改善が必要。</p>				
		27 1年生の進路指導は現状でよいか。	3.11			
28 2年生の進路指導は現状でよいか。	3.03					
29 3年生の進路指導は現状でよいか。	3.05					
30 朝補習は現状でよいか。	2.97					
31 土曜日補習は現状でよいか。	2.85					
32 冬休みの補習は現状でよいか。	2.78					
記述意見(模試・特別授業・進路検討会・その他)						
<p>・1, 2年対象の土曜日補習の効果は？あまり効果が見られないようであるなら改善すべき。</p> <p>・生徒・保護者が納得できる進路指導が今後も必要。冬休みは補習も大切だが、遅進者の補充にも力を入れる必要がある。</p> <p>・講演会等、効果的な行事が多かった。</p>						
保健・教育相談部	<p>生徒の健康な心身を育成し、安全で衛生的な環境づくりに努め、生徒を「自律」へ導く保健活動をめざす。</p>	33 生徒、教職員に対する健康管理の取り組みは現状でよいか。	3.29	<p>・課題を抱える生徒の支援体制について、委員会の位置づけをより明確にして、組織的に支援をしてゆく。</p> <p>・清掃の徹底については、率先して我々が実行をし、生徒に積極的に関わっていくことが必要である。</p>	<p>・今年度のロードレース大会は、悪天候でもあり実施の判断が困難であったが、実際実施すべきかどうかの判断基準を明確にしておく必要がある。</p>	
		34 安全点検・清掃用具点検は現状でよいか。	3.21			
		35 清掃活動の取り組みは現状でよいか。	3.00			
		36 課題を抱える生徒への支援体制は現状でよいか。	2.95			
		37 SC事業やSCとの連携は現状でよいか。	3.24			
		記述意見(担任との連携・保健講話・その他)				
		<p>・清掃活動をもっと徹底させたい。</p> <p>・スピーディーな対応やよく相談に乗ってもらっていて、とても助かっている。</p> <p>・月に1回くらい保健室来室状況の報告があつたらよい。</p>				

図書・情報部	<p>〈図書・視聴覚関係〉</p> <p>1 各教科やホームルームとの連携を密にし、図書館・視聴覚教室利用を推進する。</p> <p>2 読書の意義と楽しさを体得させ、読書習慣の形成に努める。</p> <p>3 情報センターとして、図書視聴覚設備・資料の充実を図り、教育活動に資する。</p> <p>4 広報活動の推進と生徒図書委員会の活性化を図る。</p> <p>〈情報関係〉</p> <p>1 校内LAN及びインターネットの活用を推進する。</p> <p>2 教職員のセキュリティの向上と個人情報保護に対する対応を強化する。</p>	38 図書館利用の啓発と推進は十分か。(広報活動を含む)	2.98	<p>・朝読書については、廃止の意見も出ているが、その意義を確認して、朝読書4原則の完全実施に向け協力を得て継続していきたい。</p> <p>・朝読書の有用性は認めるが、単に好きな本を読むだけでなく新聞を読ませてコメントをつけたり、討論をしたりというような内容の工夫も必要ではないか。</p>	<p>・今後も、学習センター・資料情報センター等多様な機能を持つ図書館の利用に向け、総合的な学習の担当者や各教科担当者と連携して、さらなる効果的な支援に努める。</p>
		39 朝読書への取り組みは十分か。	2.32		
		40 文化活動(文化講座等)は現状でよいか。	2.88		
		41 図書委員会の活動は現状でよいか。	3.03		
		42 インターネットの利用環境は現状でよいか。	3.03		
43 電子情報保護は現状でよいか。	3.19				
人権・同和教育部	<p>1 支え合い、高め合う経験を通して主体的に判断し、行動できる生徒を育成する。</p> <p>2 教職員研修の充実に努め、教職員自ら人権感覚を磨き、一致協力した指導体制を確立する。</p> <p>3 保護者や地域との連携をはかり、生徒支援体制を強化する。</p> <p>4 問題事象に素早く対応し、進路保障の実現をサポートする。</p> <p>5 道徳教育の実施に向け、体制作りを進める。</p>	44 生徒の人権意識の向上を図る取り組みは現状でよいか。	3.00	<p>・日々の授業での挨拶、支え合い、高め合いという視点を持った授業。各学期で実施されたLHR、人権標語の募集と学園祭での展示、人権委員による挨拶運動等の取り組みを行った。LHRについては早めに学年会と連絡を取り、事前、事後指導も含めてより充実したものになりたい。</p> <p>・人権標語については全クラスから作品が出るように工夫をしたい。</p>	<p>・道徳教育について、今年度は全体計画表を作成した。来年度は教務部と連携をとりながら各教科・分掌の各活動について道徳的な意味づけをお願いしたい。</p>
		45 教職員研修は現状でよいか。	3.08		
		46 保護者や地域への広報活動は現状でよいか。	2.88		
		47 道徳教育の指導体制は現状でよいか。	2.76		
		記述意見(資料・その他)			
事務部	<p>1 予算執行について、会計法令等を遵守し適正に処理する。</p> <p>2 校舎・校地について、環境改善に努めるなど適切に管理する。</p> <p>3 学校徴収金等について、要綱等関係規定に準拠し適正に管理する。</p>	48 親切かつ迅速・的確な窓口サービスに努めているか。	3.12	<p>・生徒の減少傾向に併せ令達される予算が年々減少する状況にあって、教科・分掌等からの予算の要求は逆に増加傾向にある。教職員の理解を得つつ、これまで以上にスクラップアンドビルドの徹底を図る必要がある。</p>	
		49 校舎・校地の環境改善が図られているか。	3.05		
		50 施設・設備等の営繕が迅速・適切に行われているか。	2.95		
		51 消耗品購入など県費予算の執行方法について、適切に説明が行われているか。	2.84		
		52 学校徴収金等が適正に管理される方策がとられているか。	3.08		
記述意見(予算・その他)					
学年会	<p>【1年部】</p> <p>1 規範意識、基本的な生活習慣、集団指導体制を確立する。</p> <p>2 学習習慣を確立する。</p> <p>3 自己理解を促進させ、職業観を醸成する。</p> <p>【2年部】</p> <p>1 人権意識を高め、自らを大切に、他を思いやる豊かな心を育てる。</p> <p>2 高校生としての基本的な生活習慣を確立する。</p> <p>3 自主的・継続的な学習習慣を確立する。</p> <p>4 個々の生徒の進路目標や適性に応じた進路指導をする。</p> <p>【3年部】</p> <p>1 人権意識の高揚と思いやる心や助け合う心を育てる。</p> <p>2 規律ある生活習慣が確立できるように指導する。</p> <p>3 自主的・継続的な学習習慣を確立できるように指導する。</p> <p>4 生徒一人ひとりの進路目標や適性に応じた進路指導を行う。</p> <p>5 学習と部活動および諸活動との両立ができるように指導する。</p>	53 面接等を通じた個別指導は現状でよいか。	3.19	<p>・スキー研修について、保護者の負担感が年々大きくなっているという点は確かにあると思う。集団宿泊研修は必要であるか否か、再確認する時期かもしれない。しかし、学年の団結力を上げるといった観点からは宿泊研修は効果があると判断している。部活動の遠征を体験しない生徒は、唯一の体験になる。</p>	<p>・遠足については、秋に実施の方向である。</p>
		54 保護者面談等保護者との連携は現状でよいか。	3.14		
		55 遠足の実施方法は現状でよいか。	3.05		
		記述意見(学級経営・スキー研修・学級編成・その他)			
		・遠足は秋に。春は行事も多く多忙、クラスが落ち着いてからの方がよい。			
・スキー研修は保護者の負担も大きく、教育効果を見つめ直して実施を再考すべき。					